

8月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡。各地昨年並みの出荷量が見込まれるが、高温の影響で生育の遅れや品質の悪いものが予想される。休市に合わせ11日から13日は特に出荷の動向が左右される見込み。
	黄・赤菊	主な産地は静岡、山形、長野、愛知。精の光彩が主力品種となるが、高温の影響を受けやすい為生育の遅れなどが心配される。高冷地はやや作付けが減少している為、上旬の需要期に合わせて後半は特に減少してくる。
小菊		福島産が中心。生育は現状やや前進傾向で、今後の高温の影響により開花遅延の可能性もある。色バランスは白がやや少ない見込み。
SP・ディスプレイバッド		愛知、静岡、栃木、宮城中心。生育状況はこれからの天候にもよるが、若干遅れ気味。各産地注文が多く、競り分は少なくなる見通し。
バラ		山形中心。上位等級が少なく短いものが多くなる。上位等級の引き合いは強いが、下位等級は数量が多く鈍い動きとなる見込み。
カーネーション		北海道、長野中心。8月盆に向けての生育は、高温の影響を受けて前進気味。このまま高温が続くと7月下旬～8月頭にかけて数量が増加し、盆前に減少する可能性もあり。
ガーベラ		母の日後に改植した分が出始めるが、数量はまだ少なめ。品質不安から7月並みの相場展開。
かすみ草		福島、北海道中心。8月前半は数量がまとまりそう。順調な見通し。
リシアンサス		東北中心。北海道の出荷が始まる。前年に比べて数量は減少見込み。
ユリ	オリエンタル	新潟の山手露地産地と北海道、埼玉中心。数量は例年通りだが、お盆向けの上中旬は多めの見込み。路地産地は今後の天候により大きく出荷がずれ込んだり、品質障害の恐れあり。カサブランカは多少出荷量が安定し、色バランスは白:色は6:4で、八重品種はやや減少となる。
	スカシ・鉄砲	・スカシLAユリ:新潟と埼玉中心。数量は例年並みの見込みだが、お盆期間は注文対応中心となる見込み。 ・テッポウユリ:長野、福島、秋田から例年並みの出荷の見込みだが、今後の天候によりずれ込む可能性あり。
洋ラン類		・オンシジューム:台湾産、国産共に季咲が落ち着く見込み。・カトレア:千葉、埼玉の出荷が少ない期間が続く。 ・シンビジューム:ニュージーランド産中心で出荷は少ない見込み。 ・デンファレ:沖縄から季咲で白品種を中心に出荷増の見込み。タイ産は数量が少ない日が続く。 ・ファレノプシス:台湾産、中国産の出荷が潤沢。
季節もの		・鬼灯:生育状況は今のところ順調ではあるが、猛暑の影響で品質不良の可能性あり。 ・ミソハギ:千葉の生産者さんが出荷出来なくなった為、数量は減(群馬県産推奨)。 ・りんどう:秋田、山形中心。昨年と比較すると遅れ気味。作付けは減少傾向である為、各市場での引き合いが高い。8月～出荷は増える見通しだが、微減で推移する可能性が高い。